

令和6年中のニセ電話詐欺の認知状況等について

令和7年1月31日
組織犯罪捜査課
生活安全総務課

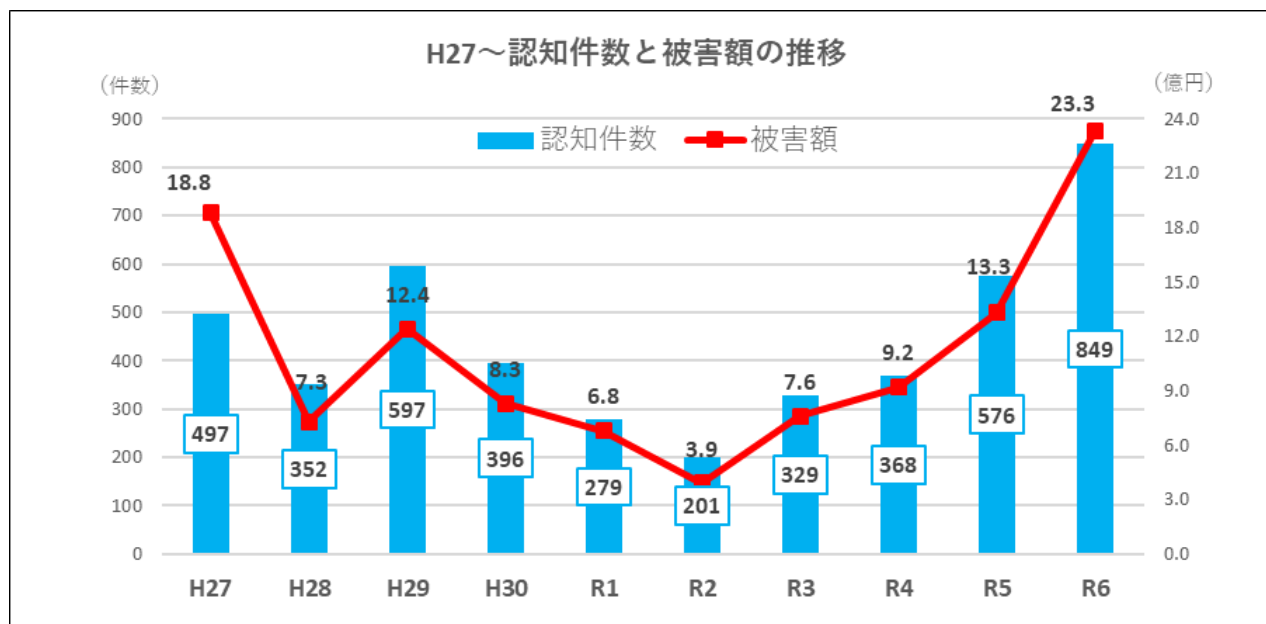
【ポイント】

- ニセ電話詐欺の認知件数・被害額ともに平成16年の統計開始史上最多を記録
- 8月より、警察官をかたったオレオレ詐欺の認知件数・被害額が急増
- 犯行に使用された電話番号のうち、約6割が国際電話
- 検挙人員は過去最多を記録

1 認知状況・被害額 ※（ ）内は、前年比、千円以下は四捨五入

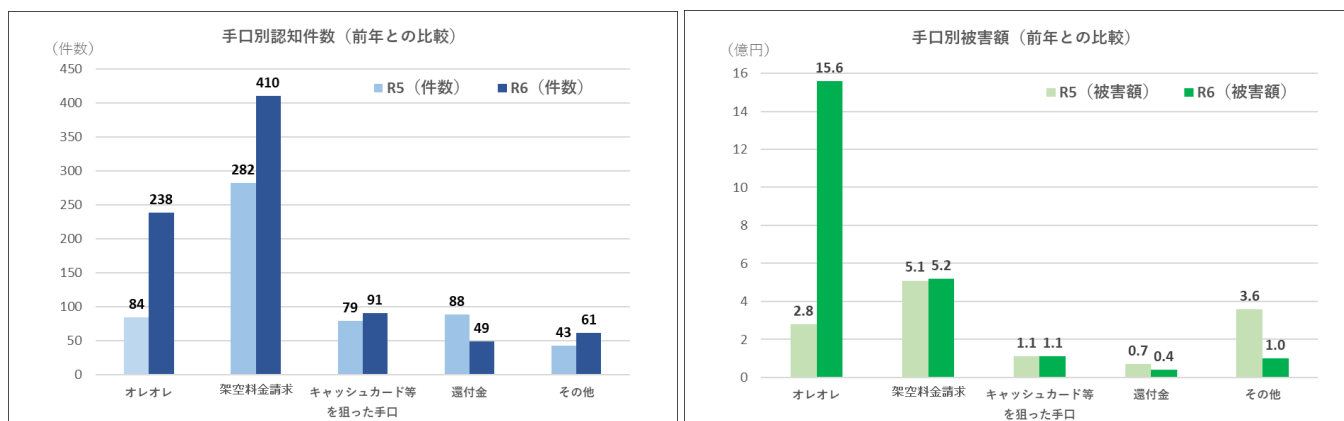
- ・ 認知件数 849件（+273件、約47%増加）
- ・ 被害額 23億3,152万円（+10億2万円、約75%増加）

2 平成27年以降の被害の推移



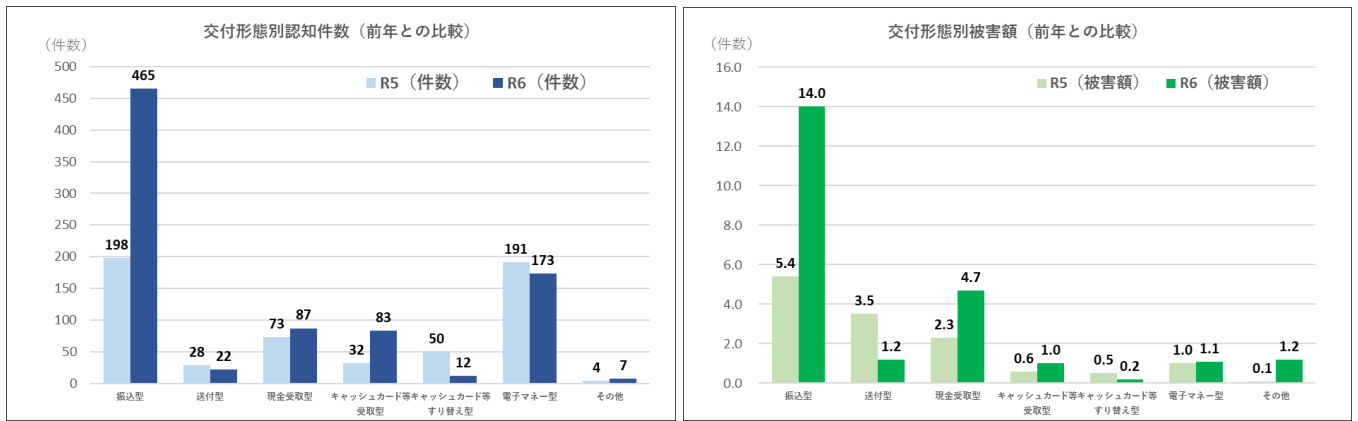
- ・ 認知件数・被害額ともに令和3年以降増加傾向が続き、統計史上最多を記録

3 手口毎の発生状況 ※ キャッシュカードを狙った手口＝（預貯金詐欺＋キャッシュカード詐欺盗）



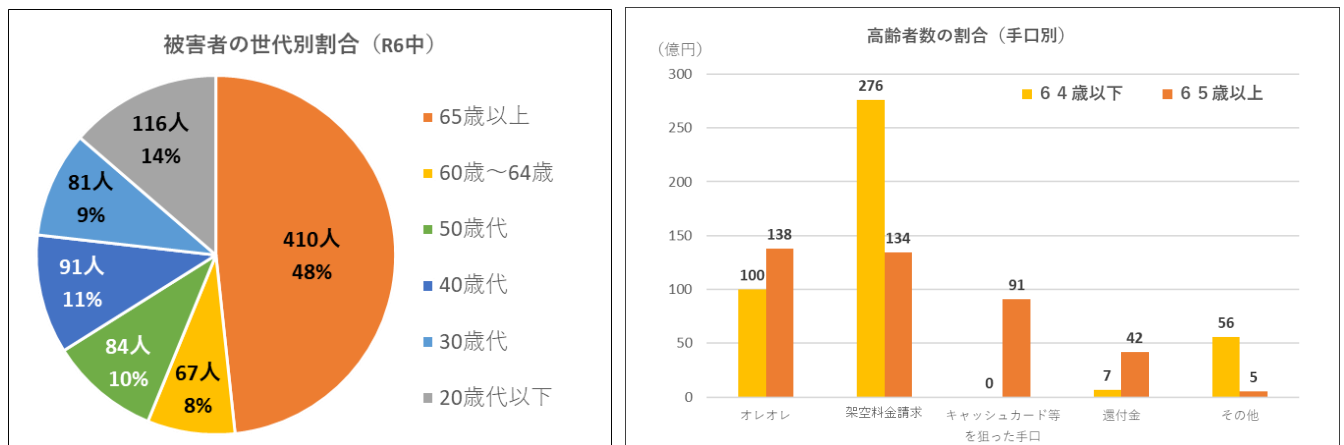
- ・ オレオレ詐欺の認知件数・被害額が大幅に増加（認知件数全体の約28%、被害額全体の約67%）
- ・ 架空料金請求詐欺の認知件数が大幅に増加するも被害額は微増
- ・ キャッシュカード等を狙った手口は、認知件数が微増も被害額は横ばい

4 交付形態別の発生状況



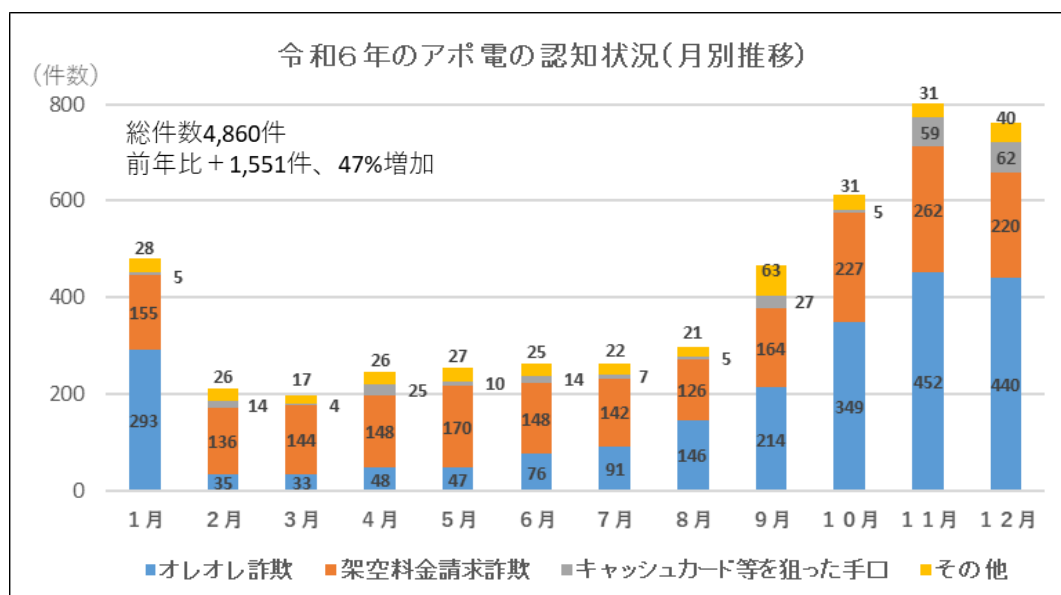
- ・ 振込型の被害が認知件数全体の半数以上に上り、被害額全体の約6割を占めるなど、交付形態別で最も多く、大幅に増加

5 被害者の年齢層



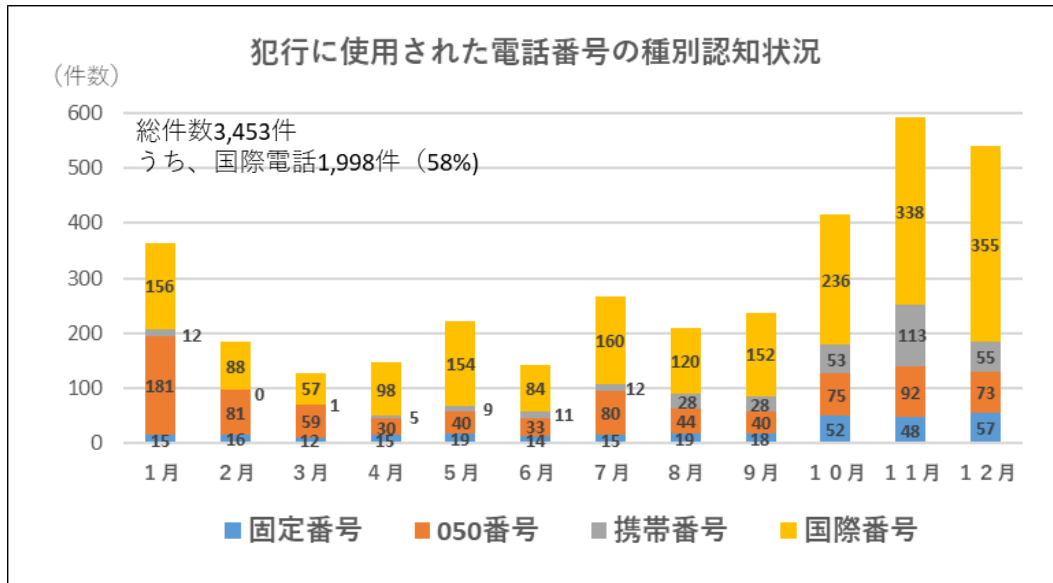
- ・ 被害者のうち、約半数が65歳以上の高齢者
- ・ 架空料金請求詐欺に関し、64歳以下の被害者は65歳以上の被害者の2倍以上
- ・ キャッシュカード等を狙った手口の被害者は、全て65歳以上の高齢者

6 アポ電(予兆電話)の認知状況



- ・ 8月以降、全体的に増加傾向が見られ、特にオレオレ詐欺の増加傾向が顕著

7 犯行に使用された電話番号の認知状況



- ・ 総件数のうち、国際電話の割合は約6割

8 主な手口例～警察官かたりのオレオレ詐欺

① アポ電

自宅の固定電話や携帯電話にNTTや総務省等をかたる者から電話があった後、すぐに他県の警察官をかたる者に電話が代わり、被害者が事件の容疑者として浮上しているなどと不安を煽るようなことを言われる。

【具体的なだまし文句の例】

「警視庁の〇〇署です。」 ※遠方地の警察を名乗る。

「●●という者を逮捕してマネーロンダリングの捜査しているが、あなたの名義が悪用されている。」

「あなたにも共犯の容疑がかかっており、このままではあなたを逮捕しなければならなくなる。」

「あなたの無実を証明するため、あなたの預貯金口座を調査する必要がある。」

※ 犯人側は、+1や+44などから始まる国際電話番号を使用して電話を架けてくる。

② LINEへの誘導

その後、警察官をかたる者と、取調べと称してLINEのメッセージ機能やビデオ通話機能を通じてやり取りをするようになり、ビデオ通話で警察の制服姿をした者から警察手帳を呈示されるなどして、本物の警察官と信じてしまう。

【具体的なだまし文句の例】

「〇〇署まで出頭していただきたいが、出頭できないのであればLINEで事情を聞くことができる。」

③ 金銭の振込等

②の警察官をかたる者から、被害者の保有する預貯金口座の数や預貯金額等を聞かれた後、資産の調査名目に、指定の口座に対する振込や暗号資産への転化と送金、指定の住所に対する現金送付等を指示され金銭をだまし取られてしまう。

【具体的なだまし文句の例】

「あなたの身の潔白を証明するには、資産や預貯金を調査する必要がある。」

「確認のため、指定の口座に預貯金を振り込むように。」

※ 他に、自宅のポストや駐輪場の自転車のカゴの中等、指定の場所に現金を置くよう指示され、何者かに持ちさらられて現金をだまし取られるケースも認められるなど、犯人グループはその時の状況に応じて様々な方法で金銭をだまし取ろうとする。

また、預貯金以外にも、証券や保険の解約を迫られ、現金をだまし取られる場合もある。

9 阻止状況

○ 銀行員による阻止(オレオレ詐欺)

阻止者は、窓口を訪れた被害者が高額のお金を引き出そうとしたことから話を聞いたところ、「夕方自宅に来る警察官に渡す」と申し立てたことから不審に思い、上司に相談の上、警察に通報して被害を阻止したもの

○ 家電量販店従業員による阻止(架空料金請求詐欺)

阻止者は、来店した被害者がパソコンのウイルス除去のために電子マネーカードを購入しようとしたことから、ニセ電話詐欺と判断し、警察に通報して被害を阻止したもの

○ 郵便局員による阻止(還付金詐欺)

阻止者は、携帯電話で通話しながらATMを操作していた被害者を発見し、声掛けしたところ、「市役所職員を名乗る者から還付金がある」旨の電話があったことが判明し、確認のため被害者の電話を代わると一方的に切断されたことから、ニセ電話詐欺と判断し、警察に通報して被害を阻止したもの

10 検挙状況

(1) 総検挙人員 ※ ()内は、前年比

80人(+3人)【内訳:成人69人(+3人)／少年11人(±0人)】

(2) 検挙事例

① 中央警察署(架空料金請求詐欺)

令和6年6月、中央警察署管内において発生した介護施設の入居権に起因する問題解決費用名目の架空料金請求詐欺事件に関し、同年4月に全国に設置された連合捜査班と連携のうえ、東京都内において被疑者1名(受け子)を詐欺未遂罪で現行犯逮捕した。

② 粕屋警察署・朝倉警察署・東警察署・早良警察署・組織犯罪捜査課(オレオレ詐欺)

令和6年11月、粕屋警察署管内をはじめ、県内で連続発生していた息子かたりのオレオレ詐欺事件に関し、被疑者2名(受け子1名・現金回収役1名)を詐欺罪で同日逮捕した。